

成田市公設地方卸売市場運営審議会会議録

1 開催日時

令和2年8月3日（月）13時30分から14時30分まで

2 開催場所

成田市飯仲42番地2

成田市公設地方卸売市場 管理事務所2階会議室

3 出席者

（委員）

岩澤貞男委員、篠原圭助委員、宇野澤省二委員、鈴木良信委員、菅谷実委員、小泉嘉美委員、廣野安弘委員、小宮山四郎委員、渡辺博光委員、田邊和利委員、川崎宏委員、柿澤利行委員、林隆浩委員、藤野真里子委員

（事務局）

小泉一成市長、五十嵐昭夫部長、金光公太場長、河野雅祐主幹、須向範之係長、飛田恒介主任主事

4 議題

- (1) 会長及び副会長の選任について
- (2) 新市場整備の進捗状況について
- (3) 新市場の開場スケジュールについて
- (4) その他

5 議事（要旨）

- (1) 会長及び副会長の選任について

委員の互選により、会長に岩澤貞夫委員、副会長に篠原圭助委員を選任した。

- (2) 新市場整備の進捗状況について

事務局より新市場整備の進捗状況について、本体棟建築工事は基礎工事及び鉄骨建て方が完了し、現在は屋根・下地工事を進めていることが報告された。

- (3) 新市場の開場スケジュールについて

新市場の開場については、令和3年夏頃の開場を目指して整備を進めているが、昨年の秋の台風と大雨、今年に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大などもあり、本体棟の整備工事の進捗についても影響が出始めている。

また、移転予定の場内事業者からも、今回のコロナ禍においては個々に実施すべき売場工事の設計など、新市場移転のための準備も思うように進めることができないとの声も伺っており、全体として一定の影響が出つつある状況となっている。

一方で、すでに新市場の開場に向けた事業戦略を立てて動き出している事業者もいることから、新市場の開場については、令和3年の夏頃という目標を数ヶ月程度遅らせ、令和3年の秋から年明けに変更することが報告された。

なお、具体的な開場の期日については、場内事業者を含めた各方面からの意見を聞いて、決定したいと考えていることも併せて報告された。

[委員質疑応答]

【渡辺委員（成田市水産物仲卸協同組合）】

- ・ 新市場の開場については、令和3年の秋から年明けを目標とするとの説明であったが、水産の一部からは令和4年の春に開場して欲しいとの意見もあるので、検討してほしい。
- 令和3年の秋から年明けの開場を目標にしたいと考えているが、年末の繁忙期を避けつつ、場内事業者の意見を聞きながら総合的に判断していきたいと考えている。

【川崎委員（NAX JAPAN 株式会社）】

- ・ 市場自体の開場時期はお任せするが、輸出事業はすでに進んでいるため、高機能物流棟で仕事を出来る時期は別で定めてもらいたい。
- 様々な意見を伺いながら、場合によっては機能毎に順次開場する等の選択肢も視野に入れながら検討していきたい。

【篠原副会長】

- ・ 関連棟については公設部分と同時オープンが望ましいと伺っているが、その進捗はどうか。
- 公設部分と関連の機能は同時にオープンできるよう成田総合流通センターと協議を進めている。先週には成田総合流通センターの主催で、新市場における関連機能の説明会が行われるなど、整備に向けて進んでいると認識している。

【柿澤委員（成田市総合流通センター成栄会）】

- ・ 新市場における関連食品棟機能の説明会については、直近では2回行われたが、今のところ成田総合流通センターからは20年、30年先を生き残るための方向が示されていない。同時オープンを目指し、市からも成田総合流通センターに督促をいただいているが、進捗としては遅れている。

【小泉委員（株式会社成田市場青果）】

- ・ 卸売会社としては、市から示されたスケジュールに合わせて準備を進めていくしかないと考えている。

【小宮山委員（成田青果卸売協同組合）】

- ・ コロナの影響を受け、先が見えず場内事業者は体力を消耗しており、全員が揃って移転できる状態かどうかという問題がある。高機能物流部分は別棟でオープンすることは良いかもしれないが、市場関係事業者はコロナが終息するまで移転できないのではないかと。
- ・ 関連食品棟との同時オープンも最低条件としているが、コロナの影響を受けて移転できるかどうか含めて慎重に議論する必要があるのではないかと。
- 先が見えない状況であり、市としてもコロナの状況を踏まえていくことが必要であると認識している。これまでは令和3年夏頃の開場という事で説明をしてきたが、色々なご意見も踏まえ、開場時期を令和3年の秋から年明けとして改め、引き続き場内事業者の意見を聞きながら柔軟に検討していきたいと考えている。

【渡辺委員（成田市水産物仲卸協同組合）】

- ・ 関連食品棟は同時オープンする形でよいのか
- 今までも同時オープンは最低条件として伺っているため、そのように調整を進めている

【鈴木委員（成田市農業協同組合）】

- ・ 農家の所得向上が一番大事であると考えているため、運営審議会を通して農家の所得が上がる体制をスムーズに整える必要があると思われる。

【岩澤会長】

- ・ 新市場周辺の道路渋滞の改善については、よく検討していただきたい。

(4) その他

本年度予定している先進地視察については、新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、実施の見送りも含めて検討する。

また、先進地視察とは別に、新市場の整備現場の委員視察を検討している。

6 傍聴

傍聴者 6名

7 次回開催日時（予定）

未定